

寧夏回族自治区

2018年8月18日（土）

中衛市 国家AAAAA級旅游景区、沙坡頭区の観光スポット（砂とラクダ、それとサーカス）
寧夏回族自治区は、真ん中を蛇行して流れる黄河の北西側は全部砂漠。リンエンペイ以外の5人は東京組。みな大学教員（とOB）。



8月19日（日）

固原市原州区張易鎮の駝巷（らくだ）村（林燕平が調査をした集落。）
東京組以外は、北九州市の農家やJAの人たち。この辺りは中国でも最も貧しい農村。自治区の中心（銀川市）から南へ車で8時間。



この自治区は省・自治区としては2番目に小さい。北京から飛行機で西へ2時間ほど 西域への入り口



中国北西部の寧夏回族自治区



自治区北西側の砂漠の中に千年以上前の石仏がある



西瓜（スイカ）。地平線までスイカ畑。



回族なのであちこちにムスリム寺院がある。



寧夏名産のクコ（枸杞）。これも大規模な生産。

回族の人たち。



まちは大変に立派。大都会。近代的なホテルも整っている。